

県南保健所感染症情報

令和7年 第 26 週

令和7年6月23日 ~ 令和7年6月29日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 26 週						警報レベル		注意報レベル
		24 週		25 週		26 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	2.60		1.20		0.60		0.27		0.90		0.60		30	10	10
	COVID-19	1.40		1.60		1.80		1.40		1.39		1.80				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	36.80		33.60		25.80		50.58		54.33		25.80				
小児科 定点	RSウイルス感染症	0.67		0.00		0.00		0.28		0.87		0.00				
	咽頭結膜熱	0.00		0.00		0.33		0.73		0.65		0.33		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15.33	警報	18.33	警報	15.33	警報	2.54		2.90		15.33	警報	8	4	
	感染性胃腸炎	0.67		0.00		0.00		5.57		4.32		0.00		20	12	
	水痘	0.00		0.33		0.00		0.55		0.81		0.00		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.42		0.42		0.00		5	2	
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.00		0.00		0.33		2.13	警報	1.39		0.33		2	1	
	突発性発しん	0.33		0.33		0.00		0.38		0.32		0.00				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.33		0.67		1.02		3.65		0.67		6	2	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.09		0.03		0.00		6	2	3
眼科 定点	急性出血性結膜炎	3.00	警報	2.00	警報	6.00	警報	0.02		0.75		6.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	9.00	警報	10.00	警報	18.00	警報	0.88		3.25		18.00	警報	8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00		1.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.05		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		0.58		0.08		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.03		0.08		0.00				

◆◆全数把握対象感染症 発生状況◆◆

※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第26週】 日本紅斑熱 患者1名(70代・男性)、レジオネラ症 患者1名(80代・男性)
五類感染症	【第26週】 百日咳 患者6名 (10歳未満・女性2名、10代・男性1名、10代・女性1名、40代・女性1名、50代・男性1名)

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。管内では2025年第26週までにSFTSが1件、日本紅斑熱が1件報告されています。

マダニ類が、媒介するSFTSは、発熱、消化器症状が主な症状で、重症化して死亡することもあります。近年、SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染に注意しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。